

全世界「サッカーにおける4団体連携」

2015年9月～継続中(2023年9月現在)



元日本代表巻誠一郎氏のインドネシア訪問

背景/課題

開発途上地域において、スポーツを通じた健全な人材の育成や健康増進、難民・女性・障害者など脆弱な立場に置かれた人々の社会参画促進、スポーツを軸とした地域振興などのニーズが高まっている。スポーツは持続可能な開発目標(SDGs)達成のために重要な鍵とされており、日本サッカー協会(JFA)、Jリーグ、WEリーグ、JICAが連携することでより効率的な協力の推進を図る。

目的

JFA、Jリーグ、WEリーグ、JICAの4者連携を通じて、開発途上地域への国際協力の効果的な実施とサッカーを通じた国際協力の一層の発展を目指す。

活動内容

- 開発途上地域でのサッカーを通じた国際協力(指導者派遣/受入、サッカー隊員等との連携)
- JリーグおよびWEリーグとJICA国内機関との地域連携
- 開発途上地域での国際サッカー大会運営への協力
- 国内外に対するサッカーを通じた啓発や広報

成果

- 日本のサッカー指導者や審判等をJICA海外協力隊等で開発途上国へ派遣(延べ約100名)。
- JICAの国際協力事業へのサッカー選手等の派遣(インドネシア中部スラウェシ地震復興支援イベントへ巻誠一郎氏を派遣等)。
- JリーグとJICA国内センターとの地域連携によって国際交流等を目的としたイベントを多数実施。